

2023年3月、多古町定例議会で、日本共産党の石渡悦子議員、菅沢ひろたか議員が行った一般質問の概要をお知らせします。町民のみなさんのご意見・ご要望をお寄せください。

### 子育て支援住宅の詳細を問う

【石渡議員】子育て支援住宅について、子育て世代を呼び込む住環境整備は必要不可欠と認識している。町の考え方、方向性を伺う。

①この計画は民間業者が町有地に建築整備し、30年間、5億1840万円で一括借上げをするというもの。詳細を伺う。

②家賃の設定について、3人家族で、月額7万円から10万円までの4段階の試算がされているが、世帯収入、上限、下限について考えを伺う。

③町の借上げ料は、1戸当たり11万6千円、管

理費1戸当たり4千円という内容だか、経年劣化に伴う修繕や退去時の修繕の負担について伺う。

④入居条件について、様々な家族形態が想定されるが基本的な考えを伺う

【平山町長】①旧多古町学校給食センターの跡地を民間事業者が既存の建物、外構等の撤去、新たな建物の建築、外構設備を担い、完成した建物を維持管理費も含め、町が事業者から一括借上げをする。

②家賃は詳細には決定していないが、町内や近隣市町の相場をみて、適宜設定したい。子育て世代が入居しやすい制度を検討していきたい。



③経年劣化に伴う修繕は事業者が担うこととなる。また、退去時の修繕費は、入居する際の敷金で賄いたい。

④入居条件は、子供がいる家庭であれば、ひとり親家庭も対象となる。妊娠・出産を希望している家庭は対象とするかどうか、今後、先進事例を参考にしたい。

建築費坪単価は、魅力ある住環境を整備するとともに、耐久性を確保するため、一般住宅の相場よりも1割程度高額にしている。

【石渡議員】一括借上げが1戸12万円。仮に家賃を8万円にした場合は、差額4万円。加えて空室があればその負担も生じる。

また、駐車場は別立てか。

【企画政策課長】借り上げと家賃の差額が出るのは事実であるが、一方で固定資産税などの税収増や、地方交付税の算定基準が上がる。さらに地域のコミュニティ生まれるなど効果がたくさん得られると見込んでいる。

駐車場は家賃に含まれる。

【石渡議員】入居者が税金等の滞納があった場合、町はどのように対応するのか。

【企画政策課長】税の滞納があれば相応の、退去していただくとか、そういう規則はこれから設計していくが、必要ではないかと考えている。

伺う。

【平山町長】ワクチンの助成者を50歳以上の方として、5月からの開始に向けて町民の皆様に周知を図ってまいりたい。

【石渡議員】5月からの実施ということ、その前に受けた人は公費の補助が受けられないのではないか。住民に対する周知が必要になる。

【保健福祉課長】今回、議案を議員に配布した時

点で、町内の医療機関に带状疱疹ワクチンの予算を提出した旨を情報提供した。予算が議決されたら医療機関と調整を図っていききたい。

接種費用は、生ワクチン4千円、不活化ワクチン(带状疱疹用)1回当たり1万円を2回分。接種費用の1/2を補助。

### 子宮頸がんワクチン接種



【石渡議員】子宮頸がんワクチンは、一昨年、8年ぶりに積極的勧奨の再開が決まった。町の令和5年度予算も増額している。今後の取り組みを伺う。

【平山町長】ワクチン対象者への通知を行うとともに、定期接種の対象年齢を経過してしまった方々に対して、無料で受けられる旨を通知した。今後

も接種の勧奨に努めてまいりたい。

【石渡議員】多古町で今まで子宮頸がんワクチンを受けて重篤な副反応があったか。

【保健福祉課長】町内の重篤な副反応例はないと承知している。

【石渡議員】国が積極的勧奨を控えるという期間に接種対象年齢を過ぎてしまった方への接種の公費負担はどうなるのか。

【保健福祉課長】令和6年度まで、公費での無料接種が受けられる。対象者の方々には、改めて通知していきたい。

多古民報  
2023年4月9日 第37号  
日本共産党多古町議会議員  
石渡悦子  
0479(75)0032 090-6498-3560  
菅沢ひろたか  
0479(75)1706 090-8680-7124



石渡悦子 議員

### 带状疱疹ワクチンへの助成を

【石渡議員】9月議会で带状疱疹ワクチンの町独自助成を求めてきたが、新年度予算に盛り込まれ

るとの説明があった。町執行部、担当課に敬意を表し、努力を高く評価する。さらに制度の詳細を

# 農業後継者への対策



【菅澤議員】 農業生産者の高齢化問題、後継者不足は、全国的な課題であり、本町も例外ではない。町の現状の取組を伺う。

農業体験ツアーに、夫婦2組を含む7人の参加があり、定期的に多古町に通い、農家の研修を受け始めた方もいる。このマッチング制度は、人材不足の農家との連携にとどまらず、農業を

命令の段階は終わり、捜査機関への相談は終了している。事業主から土砂撤去の意思表示があり、適正な計画、実現性を確認し、実施させていく考えである。井戸山地区は、昨年から撤去作業を実施して大部分の土砂が搬出されたが、道路条件で車両の大きさを制限しているのが長期間にわたる。

## 埋立て条例の改正を急げ

【平山町長】 町が行った農家意向調査でも、人材不足は恒常的課題であり、農業人材を確保していくことが非常に重要となる。一方で、新規就農や雇用就農など、農業にあらがれる方々も一定数いるので、このような方々を多古町の農業に結び付け

【菅澤議員】 埋め立て条例の一部改正が遅れているが進捗状況を示された

【平山町長】 多古町土地の埋め立て等及び土砂等の規制に関する条例の一部改正の進捗状況は、千

本三倉地区は、事業主と土地所有者で合意がされ、今後の見通しの報告をしていくので、必要な指導を継続していく。

もよいと答えている人が約40人いる。受け入れ農家をデータベース化して、ホームページ掲載など町外への発信を計画している。

また、近隣自治体で厳しい条例制定後、多古町一部地域で埋め立てが急

増しているように見えるが町の認識を伺う。

【菅澤議員】 特定外来生物ナガエツルノゲイトウが栗山川に繁茂している。駆除について、上流・下流自治体との連携も重要であり、その対策を伺う。

【平山町長】 栗山川で生息が確認されているナガエツルノゲイトウは、水田でまん延した場合、収穫作業が不能になる被害が想定される。田之倉橋から新井橋までの状況調査を実施して

【菅澤議員】 特定外来生物ナガエツルノゲイトウが栗山川に繁茂している。駆除について、上流・下流自治体との連携も重要であり、その対策を伺う。

## 菅沢ひろたか議員の賛成討論【要旨】



町の財政調整基金の保有高は、18億2,900万円であり、総務省の示す基準を若干超えているが、今後大きな事業も予定されており、ある程度の保有は必要との町の考えは理解できる。大きな事業に対する国の交付金、補助金等の手立てが考えられるが、町民の生活を

下支えする思い切った支援策を求める。

空港に隣接する多古町エリアでの物流拠点開発や、圏央道のインターチェンジ設置に伴う多古町への集客の受け入れと結びつけて、地域経済活性化拠点整備事業については、今後の町の方向性を示すきわめて重要な案件と思われる。

子育て支援、教育支援、及び病児保育支援は、全国でもトップクラスの政策で引き続き継続を求める。

学校給食費無料化は高く評価するが、食材の調達、安全性について、地元重視、国産重視、残留農薬チェック等さらなる改善策を求める。

又、带状疱疹ワクチン接種助成の予算化は県内でも先進的な取り組みと評価する。さらに、補聴器助成の実現に向けて、方針を明確にすることを望む。

ロシアのウクライナ侵略は、農業者、多くの事業者、町民の生活に影響があり、苦しい生活に国の支援金を活用するなど支援策を求める。

又、緊急盛土対策事業が予算化され、多古町の豊かな自然と、町民の安心・安全な生活を守るため、さらなる対策強化を求める。

さらに、通学路の安全対策を関係各課の連携により速やかな実施を求める。

頼した結果、改正内容が多岐にわたり、指摘事項の修正を経て、2月協議が終了した。次期定例会に条例改正案の上程を目指している。

また、地域で共同駆除作業を実施する場合の町の助成についての考えを伺いたい。

【平山町長】 栗山川で生息が確認されているナガエツルノゲイトウは、水田でまん延した場合、収穫作業が不能になる被害が想定される。田之倉橋から新井橋までの状況調査を実施して

【菅澤議員】 特定外来生物ナガエツルノゲイトウが栗山川に繁茂している。駆除について、上流・下流自治体との連携も重要であり、その対策を伺う。

### 無料法律相談会(予定)

4月15日(土)	佐原中央公民館
5月13日(土)	成田美郷台区民館
6月17日(土)	小見川いぶき館
7月15日(土)	佐原中央公民館
8月12日(土)	下総センター

事前にご連絡ください  
相談は14時〜